

特別活動

1、目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

2、努力点

- (1) 自主的、実践的な活動を助長する。
- (2) 学校・学年及び学級集団への所属感を深め、協力協調し責任役割を果たすことにより、集団の中でなくてはならない存在であることを自覚させる。
- (3) 集団活動に対する望ましい態度を育成する。
- (4) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、生活指導、学級経営等との連携を図り、特性を生かす。

各教科との関連	各教科の学習で獲得した知識・技能や態度と特別活動で培った自主的・実践的態度が、互いに支え合い、補い合う。
道徳教育との関連	道徳性を具現する大切な機会であり、内面に根ざし自律的に行うことを通して、他に転移する道徳的実践力を養う。
総合的な学習の時間との関連	問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む過程で、特別活動で培った資質や能力を生きる力として根付かせていく。
生活指導との関連	あらゆる実践活動を通して、自己実現をめざし児童相互の好ましい人間関係の形成を追求する。
学級経営との関連	望ましい集団形成をめざす過程で励まし、援助・称揚し、意欲と自発性を引き出し、問題解決能力、想像力を育てる。

3、具体的な取り組み

(1) 学級活動

《目標》学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。

話し合い活動	共同の問題	(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校における諸問題の解決 ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理
係活動	共通の問題	(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・希望や目標をもって生きる態度の育成 ・不安や悩みの解消 ・基本的な生活習慣の形成 ・望ましい人間関係の育成 ・学校図書館の利用や情報の適切な活用 ・学校給食と望ましい食習慣の形成 ・心身ともに健康で安全な生活態度の育成
学級集会活動		

《留意事項》・発達段階を考慮した自主活動をさせる。

・活動から評価まで任せることを指導する。